

# 小学生にも分かる! かるたで SDGsを 学ぼう!

「2030年までに達成しなければならないSDGsを、かるたで分かりやすく子どもたちに伝えたい」——。栃木県内の高校初となるSDGsかるた制作した小山西高校JRC部。かるた制作の経緯から今後の目標まで伺いました。



## JRCとは

Junior Red Cross(青少年赤十字)の略。小山西高校JRC部は赤十字の精神に基づき、校内外でボランティア活動に取り組んでいます。



地域清掃



## 子どもたちが遊びながら 学べるSDGsかるた

35年も続く歴史ある部は現在、3年生が夏に引退し、2年生、25人、1年生15人の合計40人が在籍。週2日の校内活動は、高齢者施設や保育所に毎月贈る模造紙の大・小型カラーダー制作や、使い捨てカタログ、コンタクトレンズケースなどの資源回収が行われ、休日の校外活動では、小山西口まつりの広報やラジオでの情報提供、高齢の方とのWEB交流や献血者の補助、被災地の方への支援活動などを実施。ボランティアの形に限界を決めることなく、様々な地域活動も行っています。

そんな小山西高校JRC部は、県内の青少年赤十字メンバーとの交流と学び、「もっと多くの人に広げなければいけないと感じた部員が大勢いました」と顧問の布川裕美教諭。しかし17の目標は難しい言葉使いや内容があり、自分たちより下の世

代には分かりにくいもの。ならば、子どもたちに馴染みがあり、遊びながら伝わるのではないかと考えたJRC部員ら。今年4月から県内の高校で初となるSDGsかるたの制作に挑んだのです。

## 小学生向けに全てアレンジ 完全オリジナルの札

46枚あるSDGsかるたの対象は主に小学生。17の目標が均等に割り振られ、読み札は短歌や川柳のようにリズム良くコンパクトにまとめられています。取り札はA5版の大きめのサイズで、全て部員による手描きのイラスト。遠くから見ても分かるように、輪郭が太めに線取りされ、色鉛筆でカラフルかつ優しい色彩に仕上げています。イラストの裏には該当する目標の内容が記され、どれも小学生でも分かるようないい解説が添えられています。全て部員がスキヤン、プリントアウト、ラミネートなどで手作りした完全

オリジナルのかるたです。

部員たちは芝生のある広場や体育館などの大きなスペースがある小学校や子ども向けイベントに出向いて、部員たちはSDGsへの理解を深めていきましたし、高校生では体感していく女性の社会進出や飢餓の問題も学び直すことができました。それに伴い、海外支援への意欲も高まり、明らかな変化があつたのです。

そこで、彼らが「17の目標を小学生にも分かりやすく、言葉を選んで解説し直すことで、SDGsかるた制作を通じて、世界の課題解決への意識向上」を実感しています。

## かるた制作を通じて高校生も 世界の課題解決への意識向上

17の目標を小学生にも分かりやすく、言葉を選んで解説し直すことで、SDGsかるた制作を通じて、世界の課題解決への意識向上

様々な課題と向き合ったことは、生徒会などを巻き込んだ毎月の地域清掃活動での出来事。「栃木は海がない県なので、海への意識は薄めですが、『この川のゴミが海の汚れにながってしまう』と懸念に拾っていたんです。これもかるた制作の効果の一端だと感じました」とかるた制作は部員の成長にもつながったことを実感しています。

SDGsかるたを通じて、世界の課題解決への歩みを始めたのは、生徒会などの取り組みで、その気運を高める一つのきっかけとなっていました。

## INFORMATION

栃木県立  
小山西高等学校  
小山市松沼741  
0285-37-1188



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### SDGsとは

「Sustainable Development Goals」の略称で、持続可能な開発目標のこと。2015年の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2030年までに達成するために掲げた17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

### JRC顧問 布川裕美教諭

担当教科: 国語  
栃木県青少年赤十字(JRC)指導協議会理事  
栃木県ガイドンスカウンセラーカー会長など



## SDGsかるたができるまで

完成!

1 机鏡をヒロに  
2 机鏡をヒロに

総仕上げ作業は1、2年生の担当。PCでデザインや編集作業をして完成させました

かるたのイラストは分かりやすさがポイント。美術部も兼部する部員が最終チェック

子どもたちにSDGsを伝えたい一心で、絵が苦手な部員も全員で取り組んだかるたづくりを行なった

部員のエネルギーを注いだSDGsかるた制作は、その後、取り組みたいこととSDGsかるたを通じて、世界の課題解決への歩みを始めたのは、生徒会などの取り組みで、その気運を高める一つのきっかけとなっていました。

SDGsかるた制作を通じて、世界の課題解決への歩みを始めたのは、生徒会などの取り組みで、その気運を高める一つのきっかけとなっていました。

SDGsかるた制作を通じて、世界の課題解決への歩みを始めたのは、生徒会などの取り組みで、その気運を高める一つのきっかけとなっていました。

SDGsかるた制作を通じて、世界の課題解決への歩みを始めたのは、生徒会などの取り組みで、その気運を高める一つのきっかけとなっていました。

5 文/米村優子 写真/blok design lab

4